

株式会社ジェイコムイースト 江戸川局 放送番組審議会 概要

平成 24 年度の放送番組審議会は 2012 年 4 月 19 日(木)に江戸川局で開催された。

<放送番組審議会委員> (五十音順)

ご出席

佐 野	雅 邦 様	根 本	秀 樹 様	深 井	進 様
藤 見	裕 香 様	茂 呂	昌 利 様	横 山	春 乃 様
吉 田	敏 夫 様				

ご欠席

長 尾 良 子 様

事業者側から現況報告及び放送法改正、J:COM チャンネルの報告があった。

【質疑応答・意見交換】

(『ほっとセレクション』について)

委員 『ほっとセレクション』の対象地域に浦安市は入っていないのか。

事業者 千葉には柏、八千代、浦安、木更津の 4 つの局がある。浦安は独自で番組を制作しているので、『ほっとセレクション』の対象地域ではない。江戸川を渡ってすぐの地域なので、複合的な編成を組むようにしていきたい。

(映像の品質について)

委員 液晶テレビで視聴しているが、111CH～113CHの映像が鮮明ではない。

事業者 毎回同様のご意見をいただき申し訳ない。今年の 10 月までにハイビジョン化する予定になっているのでもう少しお待ちいただきたい。ハイビジョン対応のカメラを導入したので、取材はハイビジョンでできるようになった。

(イベント取材について)

委員 船堀や葛西の身近な話題を取り上げていただき感謝している。「江戸川区民まつり」や「花の祭典」をアピールできる場になっている。イベントや J:COM の認知度も高くなってきているので今後も継続してほしい。

事業者 地域の大きなイベントは今後も継続して取り上げていく。

(『ほっとセレクション』、『粋な下町テレビ』について)

委員 非常に細かい話題まで取り上げられていることに興味をもった。

『ほっとセレクション』は、1日4回で1週間放送する機会があるのならば、リピートするのではなく更新回数を多くしてはどうか。視聴者からのリクエストを取り上げてもらえるのはいいことである。ある幼稚園で昨年、風船を飛ばすイベントがあり取材してもらった際、反響が大きかった。自分が取材され放送されると見たくなるものなので、それが視聴されるきっかけになる。もっと頑張ってもらいたい。

『粋な下町テレビ』は、出演者の「～らしい」という言い回しやマイナスの表現が気になる。お笑い芸人を使うのはよいが、きちんと伝えなければいけない部分は、はっきりしないといけないと思う。せっかくの番組なのに印象がよくないものになってしまう。

(『粋な下町テレビ』について)

委員 最近はそのような番組が多いのかも知れないが、『粋な下町テレビ』はお笑い番組ではないので、楽屋落ちのように出演者が自分たちだけで楽しんでいるようではいけない。

事業者 『ほっとセレクション』のリニューアルに関して、視聴者からのリクエスト募集は番組担当者からの提案であった。番組専用の取材リクエストフォームを新設した。制作担当の人員が少ないので、委員の方をはじめ広く区民から情報を集めていきたい。番組の内容は改善していかなければいけない部分があると思うので対応していきたい。

(深夜の番組編成について)

委員 11CHの深夜はジャパネットたかたを放送している。10CHは放送を休止している。帰宅したあとの深夜の時間帯も地域の番組を視聴したいと思う。

事業者 10CHは全国共通の編成となっていて、約900万世帯以上が対象となっている。地域から全国へ情報発信するという意図がある。11CHは従来どおりの編成となっている。

(番組ジャンルについて)

委員 情報番組、トーク番組に偏っている印象である。スポーツや音楽を扱った番組はあるのか。幅広くいろいろなジャンルを取り上げてほしい。

事業者 アマチュアバンドなどはニュース・トピックスで取材したことがある。スポーツの試合や音楽コンサートのような長時間の番組枠がとれていないのが現状である。グループの方向性としては、サッカーや少年野球の大会をバックアップして取り上げていこうとしている。

(取材対象について-1)

委員 葛西に住んでいるが、番組を通じて魚市場に入れることを初めて知った。番組を見るとどうしても足を運びたくなるものである。また、「(真蔵院の雷の)大般若」は、全国でも珍し

い女装して参加する奇祭であるが、最近では競って参加してもらえるようになった。J:COM チャンネルで取材されたことで江戸川に来てくれる方が増えればありがたいと思う。

(取材対象について-2)

委員 番組を見て興味がわいたり、新しいことを知ったりすると、そこに行ってみよう、買ってみようということになる。

(番組のありかたについて-1)

委員 週にひとつは江戸川区だけの番組がほしい。江戸川区のよいところを紹介することで、多チャンネル加入にも貢献できると思う。J:COM ショップや区役所など、もっと一般の人たちが J:COM チャンネルの番組を視聴できるところがほしい。

(番組のありかたについて-2)

委員 以前と違って広域の放送エリア、番組編成となったからなのか、江戸川区の場面が常に出ているわけではなくなってしまっていて残念である。

(番組のありかたについて-3)

委員 J:COM チャンネルを視聴できる場所を増やす、取材先を増やす、地元密着の話題を増やす。それらを実施することで加入も増えていくはずである。放送エリアを広げるよりメリットがあるのではないか。

(まとめ)

会長 いろいろなイベントを取り上げてもらっている。今後も地域の細かいところまで取材していったほしい。

以上